



PROGRAM

No.9

NFAJプログラム
2018年10月発行

日本・スウェーデン外交関係樹立150周年

スウェーデン映画への招待

Invitation to Swedish Film History
at the 150th Anniversary of Sweden-Japan Diplomatic Relations

2018年

11月27日(火) — 12月13日(金)

12月15日(日) — 12月23日(日)

11-12月の休館日▶▶▶月曜日

主催: 国立映画アーカイブ、スウェーデン映画協会
協力: スウェーデン大使館



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

東京国立近代美術館フィルムセンターは、
2018年4月1日より国立映画アーカイブとなりました。



国立映画アーカイブ [2階]

長瀬記念ホール OZU

定員=310名(各回入替制・全席自由席)

前売券

11月13日(火)10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各100席分)を販売します。[Pコード: 559-141]

前売料金: 一般520円 / 高校・大学生・シニア310円 / 小・中学生100円

- ・別途発券手数料がかかります。
- ・各回の開映後の入場はできません。
- ・学生、シニア(65歳以上)の方は証明できるものをご提示下さい。
- ・チケット購入方法や手数料については、4頁をご覧ください。

当日券(発券=2階受付)

料金: 一般520円 / 高校・大学生・シニア310円 / 小・中学生100円 / 障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブ及び東京国立近代美術館のキャンパスメンバーズは無料

- ◆当日券で入場される方には、開館と同時に、当日上映される全ての回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。各日の開館時間については4頁のスケジュール欄をご覧ください。
- ・各回の開映後の入場はできません。
- ・当日券の発券は、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、国立映画アーカイブ及び東京国立近代美術館のキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・当日券の発券は各回1名につき1枚のみです。

入場方法

- ①前売券をお持ちの方は、開場時(開映30分前)に、前売券に記載された整理番号順にご入場いただけます。
 - ②その後は、当日券の整理券をお持ちの方が、整理番号順にご入場いただけます。前売券をお持ちの方は、随時ご入場いただけます。
- 前売券・当日券は当日・当該回のみ有効です。

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

日本・スウェーデン外交関係樹立150周年

スウェーデン映画への招待

Invitation to Swedish Film History
at the 150th Anniversary of Sweden-Japan Diplomatic Relations

日本とスウェーデンが国交を樹立してから150年を迎えた記念すべき本年、国立映画アーカイブは、スウェーデン映画協会と共同で、スウェーデン映画の特集上映を開催します。本特集は、2年前に開催したスウェーデン無声映画特集に続く、トーキー映画の大規模な回顧上映となります。

人口や経済の規模において、決して大国とは言えないスウェーデンは、しかし、多くの素晴らしい映画を生み出してきました。それは、世界映画史においてしばしば言及される、無声映画期の充実した作品群や巨匠イングマル・ベルイマンの作品にとどまりません。さまざまな映画作家たちが、厳しくも美しい自然や北欧独特の季節のリズム、文学や演劇の豊かな伝統、福祉国家としての歩み、二度の大戦における中立政策など、スウェーデンに固有の自然や歴史／社会的条件の下、ユニークな作品を撮ってきました。

本特集では、ベルイマン作品や同国出身の女優イングリッド・バーグマンの出演作品はもちろん、スウェーデン国民が愛した大衆喜劇やメロドラマ、スウェーデン映画史上の重要作、また、ポー・ヴィーデルベリやヤーン・トロエら1960年代に台頭した新世代の映画作家たちによる革新的作品など、日本未紹介の作品を多数含む、1934年から1982年までにわたる計30本(24プログラム)のスウェーデン映画を上映します。これほど時代や監督、ジャンルのバラエティに富んだスウェーデン映画特集は過去に類を見ず、スウェーデン映画の歴史を体系的に知ることができる絶好の機会になるでしょう。さらにスウェーデン皇太子の貴重な訪日記録映画も加えて、ぜひお見逃しなさい、皆さまのご来館をお待ち申し上げます。

- 製作会社欄の略記 SF=スウェーデン・フィルムインダストリー SFI=スウェーデン映画協会
- 監督 ◎=原作・原案 ○=脚本 ●=脚色 ○=撮影 ○=美術 ○=音楽 ○=出演 ○=解説・ナレーション
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 『街の人たち』と『出生』を除き、上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- スウェーデン人名の表記は、原則として原音に忠実な表記を採用していますが、一部の人名については従来の慣用的な表記を踏襲しています。

I 12/13(木)3:00pm 12/23(日)祝1:00pm

カール=フレドリク 統治す

(90分・DCP・白黒) Karl Fredrik regerar

貧しい農場労働者から社会民主党の党员、そして政府閣僚へと上りつめたカール=フレドリク(ヴァレレン)が、より急進的な立場のジャーナリストである娘レーナ(ノーリン)との関係に悩みつつ、利害を異にする者たちと交渉し、調停していく姿を描く。2年前の社会民主党政権樹立を受けて、社会変革や階級変動の可能性を説いた作品で、主人公役のS・ヴァレレンは、1930年代のスウェーデンの国民的スターの一人だった。

1934(SF) ◎グスタフ・エドグレン ◎オスカル・リードク ヴィスト ◎オーケ・ダールクヴィスト、マッティン・ポディーン ◎アーネ・オーケルマルク ◎エーリック・ベングトソン ◎シーグッド・ヴァレレン、ダグマル・エッペセン、グル=マイ・ノーリン

2 12/11(火)7:00pm 12/19(水)3:00pm

ペンション「楽園」(78分・DCP・白黒)

Pensjonat Paradiset

上流階級の人士が集うペンションを舞台としたコメディ。自らを著名なオペラ歌手と偽ったユッレ(モデー)は、ペンション経営者の娘の結婚をめぐる大騒動に巻き込まれる。男性が女性もの下着を身に着けるシーンなど暴走する物語展開が、1930年代前半のスウェーデン映画で大衆の人気を博した喜劇の「低俗性」に眉をひそめていた知識階級から総攻撃されたことでも知られる作品だが、現在でもスウェーデン国民から愛されている映画である。

1937(ストックホルムフィルム) ◎ヴェイレル・ヒルデブランド ◎ローバット・ヴァールベリ、アットゥール・エーネル ◎E・ペリストランド ◎アーネ・オーケルマルク ◎ジュル・シルヴェン ◎トル・モデー、カッレ・ハーグマン

3 11/27(火)3:00pm 12/6(木)7:00pm

キャリア(107分・DCP・白黒) Karriär

温かな人情描写で人気のあった、S・パウマン監督によるバックステージもの。劇団の駆け出し女優モニカ(ハッソ)は、巡業先で技師(ラーゲルヴァル)と恋に落ちるが、二人の間にはやがて行き違いが生まれ…。モニカをストックホルムに連れ出して再起を図る、往年の名女優(セルマン)のドラマも印象に残る。主役のS・ハッソは1940年代以降、ハリウッドとブロードウェイでも活躍。

1938(イレーフィルム) ◎シャミール・パウマン ◎フランス・ヴィンテシュティン、ポリエ・ラーション ◎ヒルメル・エークダール ◎アルヴィン・シャルフ ◎ジャック・アルマン ◎シグネ・ハッソ、ステューレ・ラーゲルヴァル、トリエ・セルマン、カール・バルクリンド

4 12/2(日)12:00pm 12/7(金)3:00pm

〈イングリッド・バーグマン選集〉

(計140分・DCP・白黒・英語字幕付)

世界的に知られたスウェーデン人女優、イングリッド・バーグマンの選集。スウェーデン時代の代表作の一つ『女の顔』(1989年日本公開)では、整形手術により身も心も美しく変化し、加担しそうになっていた悪事を自らの意志で阻む女性を演じる。バーグマンはその後ハリウッドに迎えられ、さらにはイタリア人監督R・ロッセリーニと公私にわたるパートナーになる。『イングリッド・バーグマン、バースににて』は、久々に故国に帰ったバーグマンが、人々に温かく迎えられる様子をとらえる。同じく貴重な記録映画『ロッセリーニ家とのひととき』では、ロッセリーニ作品『イタリア旅行』(1953)の撮影風景と、その合間にくつろぐ一家の様子が映し出される。モーパッサンの同名短篇を映画化した『首飾り』は、オムニバス作品『刺激』の一挿話。バーグマンは虚飾ゆえに不幸な境遇に転落する妻を見事に演じる。モランデルとは本作が最後のコラボレーションとなったが、その隙のない演出は残酷なまでに冴えわたっている。

女の顔(101分・DCP・白黒・英語字幕付)

En kvinnas ansikte

1938(SF) ◎グスタフ・モランデル ◎フランソワ・ドクワウセ ◎ユスタ・ステューヴェンス、ステイーナ・ベリマン、ラガンヒルド・プリム ◎オーケ・ダールクヴィスト ◎アーネ・オーケルマルク ◎エーリック・ベングトソン ◎イングリッド・バーグマン、トール・スヴェンベリ

イングリッド・バーグマン、バースににて

(6分・DCP・白黒・英語字幕付)

Med Ingrid Bergman på Berns

1953(サンドレヴス) ◎イングリッド・バーグマン、ロベルト・ロッセリーニ

ロッセリーニ家とのひととき

(6分・DCP・白黒・英語字幕付)

Kort möte med familjen Rossellini

1953(エローバ・フィルム) ◎◎ヤット・エングストルム ◎スーレン・ガウフィン ◎イングリッド・バーグマン、ロベルト・ロッセリーニ、イザベラ・ロッセリーニ、ジョージ・サンダーズ ◎ニルス・グスタフ・ホルムクヴィスト

首飾り(27分・DCP・白黒・英語字幕付) Smycket

1967(SF) ◎◎グスタフ・モランデル ◎アルランド・ヨーセフソン ◎グンナル・フィッセル ◎イングリッド・バーグマン、グンナル・ビョーンシュランド、グンネル・ブローストルム

5 12/15(土)1:30pm 12/20(木)3:00pm

参考上映▶

スエーデン皇太子殿下同妃殿下御来朝

(9分・18fps・35mm・無声・白黒)

東洋文化に造詣が深かったグスタフ・アードルフ皇太子(のちのグスタフ6世)が、1926年に来日した時の記録映画。スウェーデン映画協会所蔵可燃性35mmプリントから、今回ニュープリントを複製。

1926(日活)

炎は燃える(107分・35mm・白黒)

Det brinner en eld -

国立劇場の看板女優ハリエット(ティードブラード)は、劇場の活動を支援する外国の駐在武官レンメリング(ハーンソン)と恋仲にあった。だがレンメリングの故国がハリエットの故国を侵略・占領したことにより、二人の絆は試練の時を迎える…。名匠モランデルが撮った戦争メロドラマで、物語は当時ドイツに占領された隣国ノルウェーの状況を想起させるが、劇中では国名は明言されない。第二次世界大戦で中立を保ったスウェーデンのジレンマが凝縮された1本。

1943(SF) ◎グスタフ・モランデル ◎◎ユスタ・ステューヴェンス ◎カール・ラガバル・ジェロー ◎オーケ・ダールクヴィスト ◎アーネ・オーケルマルク ◎ラーシュ=エーリク・ラーション ◎インガ・ティードブラド、ラーシュ・ハーンソン、ヴィクトル・シューストルム

6 12/12(水)3:00pm 12/20(木)7:00pm

霧は溢れ雨は落つ(103分・DCP・白黒)

Driver dagg faller regn

当時最大のヒットとなった恋愛映画。裕福な大農園主の娘マリット(セッテリング)とバイオリン弾きの若者ヨーン(シェリー)に恋に落ちる。だが、ヨーンはマリットの父の元婚約者が生んだ不義の子で、災いをもたらす存在として村中から疎まれていた。二人はあらゆる困難を乗り越えて愛を貫こうとする。時間を温かく迎え入れると同時に厳しく敵対する自然の描写は、スウェーデン映画ならではの魅力に満ちている。

1946(フリーバリス・フィルムビュロー) ◎◎グスタフ・エドグレン ◎マルギット・スーデルホルム ◎ガルド・サルベリ ◎マッティン・ポディーン、ヤール・ニランデル ◎アーネ・オーケルマルク ◎エスキル・エークケト=ルンティン、ベングト・ヴァッレシュトルム、ユスタ・クルン ◎マイ・セッテリング、アルフ・シェリー

7 12/15(土)11:00am 12/18(火)7:00pm

見知らぬ港(85分・DCP・白黒)

Främmande hamn

第二次世界大戦勃発直前の1938年冬、ポーランドのグディニヤ港。スペインのフランコ政権を支持するナチス・ドイツは、大量の手榴弾を缶詰に偽装して、スウェーデンの貨物船でバルセロナ港まで密輸しようとする。それを知った船員たちが取った行動は…。ソ連映画に強い影響を受けた、左翼映画作家E・H・ファウストマンの代表作。

1948(サンドレヴス) ◎エーリク・“ハンベ”・ファウストマン ◎ヨーセフ・シェルグレン ◎ハルバット・グレイヴェニウス ◎カール・エドランド ◎P・A・ルンドグレン ◎カール=オーロフ・アンデルベリ ◎アードルフ・ヤール、イェオリ・ファント、ステューグ・ヤッセル

8 11/30(金)7:00pm 12/9(日)1:00pm

牢獄(80分・DCP・白黒・英語字幕付) Fängelse

ベルイマンが自身の脚本を初めて監督し、初期キャリア上の転機となった重要作。17歳で首ごもってしまった娘ビルギッタ(スヴェードルンド)の転落が、「この世は地獄である」という全篇を貫く主題を通奏低音として、悪夢のように展開していく。また、映画監督マッティン(エークマン)が次作を構想する様子も並行して描かれ、メタ映画の試みとしても野心的な作品。

1949(テラフィルム) ◎◎イングマル・ベルイマン ◎ヨラン・ストリンドベリ ◎P・A・ルンドグレン ◎アールランド・フォン・コック ◎ドリス・スヴェードルンド、ピリエル・マルムステーン、エーヴァ・ヘンニング、ハッセ・エークマン、ステューグ・オリン

9 12/16(日)1:30pm 12/18(火)3:00pm

母というだけ(101分・DCP・白黒) *Bara en mor*
20世紀初頭から1920年代にかけてのスウェーデンの農村地帯を舞台に、日雇い農場労働者の娘リーアリア(ダールベック)が、望まない結婚と出産を経て、苦しい生活にたびたび押し潰されそうになりながらも、母として子供たちを育て上げる姿を描く。ベルイマン作品などで知られるE・ダールベックが、強く美しい女性を熱演。
1949(SF) ㊟㊟アルフ・シューベリ ㊟㊟イーヴァル・ロー＝ヨハンソン ㊟ マッティン・ポティーン ㊟ ニルス・スヴェンヴァル ㊟ ダグ・ヴィレーン ㊟ エーヴァ・ダールベック、ラグナル・ファルク、ウルフ・バルム、ヒューゴ・ビョーネ、オーケ・フリデル、マックス・フォン・シドー

10 12/16(日)11:00am 12/21(金)3:00pm

娘とヒヤシンス
(89分・35mm・白黒・英語字幕) *Flicka och hyacinter*
父に続いて俳優として活躍するかわら、幅広いジャンルの映画を演出し、1940～50年代に国内で最も批評的・興行的成功を取った監督の一人、H・エークマンの代表作。洗練された演出と先駆的テーマゆえに、スウェーデン映画史上の最重要作品にも数えられる。ミステリアスな女性ダグマル(演じるのは当時エークマン夫人だったE・ヘンニング)の自殺の真相が、『市民ケーン』(1941、オーソン・ウェルズ)形式で語られる。
1950(テラ・フィルム) ㊟㊟ハッセ・エークマン ㊟ ヨーラン・ストリンドベリ ㊟ ビビ・リンドストルム ㊟ アルランド・フオン・コック ㊟ エーヴァ・ヘンニング、ウルフ・バルム、ビルギット・テングロート、アンデシュ・エーク

11 11/30(金)3:00pm 12/8(土)4:00pm

春の悶え(108分・DCP・白黒)
Hon dansade en sommar
湖畔での全裸のラブシーンによって世界中でスクランダラスなまでにヒットし、美しい自然描写と性的な自由さという、スウェーデン映画の一般的イメージを確立した作品。だが、むしろ全篇を支配するのは、教会に代表される旧道徳に縛られた農村社会と、都市文化の流入によって、一瞬の青年期を燃焼し尽くすかのように純粋に異性を求めようとする若者たちとの、熾烈な世代間闘争のドラマである。ベルリン国際映画祭金熊賞受賞。1954年日本公開。
1951(ノーティスク・トーネフィルム) ㊟ アーネ・マツソン ㊟ パール・オーロフ・エックストルム ㊟ ヴォロージャ・セミチヨフ ㊟ ヨーラン・ストリンドベリ ㊟ ビビ・リンドストルム ㊟ スヴェン・シュルド ㊟ ウッラ・ヤコブソン、フォルケ・スンドクヴィスト、エドヴィン・アードルファン

12 11/29(木)7:00pm 12/9(日)4:00pm

道化師の夜(93分・DCP・白黒・英語字幕)
Gycklarnas Afton
困窮したサーカス団を率いるアルベルト(グリーンベリ)は、旅回りの生活に疲れ果て、一度は捨てた妻(トレートヴ)に家庭に戻りたいと訴えるが拒絶され、愛人アンナも別の劇団の色男(エークマン)に誘惑されてしまう。人間の受ける屈辱という感情を正面から見据えたベルイマンの辛辣な演出にあって、アンナを演じたH・アンデションの艶めかしい魅力が光る。1965年日本公開。
1953(サンドレヴス) ㊟㊟イングマル・ベルイマン ㊟ スヴェン・エックヴィスト、ヒルディング・ブラード ㊟ ビビ・リンドストルム ㊟ カール＝ピリエル・フロムダール ㊟ オーケ・グリーンベリ、ハリエット・アンデション、ハッセ・エークマン、アンデシュ・エーク、ギュードルン・プロスト、アンニカ・トレートヴ

13 11/27(火)7:00pm 12/5(水)3:00pm

ミス・エイプリル(100分・DCP・カラー)
Froken April
堅実な生活を送る銀行頭取(ビョーンシュランド)が、春の陽気に誘われたことから美しいダンサーの娘(スーデルプロム)と出会って恋に落ち、オペラ歌手として第二の人生に目覚めてゆくミュージカル。ベルイマン映画で知られるG・ビョーンシュランドの喜劇俳優としての魅力にあふれた作品で、全篇取り違えと勘違いによって軽快に進行する脚本も素晴らしい。
1958(エローバ・フィルム) ㊟㊟ヨーラン・イエンテレ ㊟ カール＝エーリック・アルパツ ㊟ アーネ・オーケルマルク、パント・デュロイ ㊟ ハリ・アーノルド ㊟ グンナル・ビョーンシュランド、レーナ・スーデルプロム、ヤール・クルレ、ギャビー・ステーンベリ、ドグラス・ホーゲ

14 12/15(土)4:30pm 12/21(金)7:00pm

貧民街(101分・35mm・白黒・英語字幕)
Kvarteret Korpen
J・トロエルと並び、1960年代以降のスウェーデン映画を革新したB・ヴィーデルベリの劇場長篇デビュー作。大恐慌の余波が続く1930年代後半、スウェーデン最南部の都市マルメの貧民街を舞台に、作家志望の若者アンデシュ(ペリグレン)のままならない日々を描く。リアルな人物たち、そして彼らを即物的にとらえるカメラの眼差しは、スウェーデン映画の新時代の到来を高らかに告げている。
1963(エローバ・フィルム) ㊟㊟ボー・ヴィーデルベリ ㊟ ヤーン・リンドストルム ㊟ エイナル・ネッテルブラード ㊟ ジュゼッペ・トレリ ㊟ トミ・ペリグレン、ケウヴェ・イェルム、エミ・ストルム、イングヴァル・ヒルドヴァル

15 12/12(水)6:30pm 12/22(土)3:30pm

〈アーネ・スックスドルフ選集〉
(計135分・DCP/35mm・白黒)
スウェーデンを代表するドキュメンタリー作家、アーネ・スックスドルフ(1917-2001)の選集。『くちばし』は、無人の海岸で鳥たちが過酷な生存競争を繰り広げるさまを、美しい撮影によって見せる。『街の人たちは、ストックホルムの日をとらえた』『都市交響楽』風ドキュメンタリーで、スウェーデン映画で初めてアカデミー賞を受賞した。『出立』は、ロマの人々が旅立つ姿を描く。いずれの短篇でも、角度をつけたショットがリズムカルな音楽と共に、的確かつダイナミックに編集されるさまは、現在観てもなお卓越している。スックスドルフは1962年にブラジルに移住し、映画作りを教える傍ら、貧しい子供たちの救済に力を注いだ。『幸せは遠い雲の下に』(当館所蔵プリントによる上映)は、その過程で製作された長篇セミドキュメンタリー。リオデジャネイロの高台のバラックに住む4人の孤児たちが、感傷を排したカメラによって映し出される。
くちばし(18分・DCP・白黒) *Trut!*
1944(SF) ㊟㊟アーネ・スックスドルフ ㊟ ヒルディング・ローセンベリ ㊟ ヴィリ・ペーテシュ
街の人たち(18分・DCP・白黒) *Människor i stad*
1947(SF) ㊟㊟アーネ・スックスドルフ ㊟ スティグ・リーブランド
出立(10分・DCP・白黒) *Uppbrott*
1948(SF) ㊟㊟アーネ・スックスドルフ ㊟ マッティン・ポティーン
幸せは遠い雲の下に(89分・35mm・白黒)
Mitt hem är Copacabana
1965(SF) ㊟㊟アーネ・スックスドルフ ㊟ フラヴィオ・ミグリアーシオ、ジョアン・ベテンクール ㊟ ハグメズ・ニヤタリ ㊟ レイラ・サントス・ジ・ソウザ、クワスミ・ドス・サントス、ジョザファ・ダ・シウヴァ・サントス

16 11/28(水)2:00pm 12/8(土)11:00am

ここにあなたの人生がある
(169分・DCP・白黒/カラー・英語字幕)
Här har du ditt liv
1910年代、父親が病に倒れた一家の少年オーロフ(アックスベリ)は、製材労働者、映画館の売り子、巡回興行の映写技師などの仕事を転々として、独学で学問を身に付け、恋をし、社会変革の意識に目覚めていく。1960年代以降のスウェーデン映画を牽引する一人、J・トロエルの長篇デビュー作は、一少年の成長を描きながら広い世界へ突き抜け、唯一無二の詩情をまとう決定的代表作となった。
1966(SF) ㊟㊟ヤーン・トロエル ㊟ エイヴィンド・ヨーンソン ㊟ ベングト・フォシュルンド ㊟ ロルフ・ボーマン ㊟ エーリク・ノードグレン ㊟ エッティ・アックスベリ、ギュードルン・プロスト、ウッラ・アクセルソン、ウッラ・シュエプロム、グンナル・ビョーンシュランド

17 12/13(木)7:00pm 12/22(土)1:00pm

天使のともしび
(83分・DCP・カラー・英語字幕) *Hugo och Josefina*
人気児童文学作家M・グリーベの小説を映画化した児童映画。友だちのいないヨセフィン(ウーマン)が、奔放で型にはまらない少年ヒューゴ(ベックレーン)と出会い、仲良くなる。子どもたち、そして周囲の大人たちも等しく複雑な事情を抱えた存在としてとらえる、自然主義的な眼差しが出色。ラストは深い余韻を残す。1970年の日本公開時には、日本版の音楽に変更されて上映されたが、今回上映するのはオリジナル版。
1967(サンドレヴス) ㊟㊟シエル・グラーデ ㊟ マリア・グリーベ ㊟ ラーシュ・ビョーネ ㊟ トールビョーン・リンドクヴィスト ㊟ マリー・ウーマン、フレードリク・ベックレーン、ベッパ・ヴォルグジュ、インガ・ランドグラー

18 12/16(日)4:30pm 12/19(水)7:00pm

ガールズ(100分・DCP・白黒・英語字幕)
Flickorna
女優から監督に転身したセッティングの長篇第4作。パートナーとの関係にそれぞれ問題を抱える女優三人が、アリストパネス「女の平和」のツアー中、女性の権利獲得をめぐる困難に直面する。現実と非現実が入り交じる大胆な形式で表現された過激な風刺性は、当時の批評家と観客の反感を買い、その後18年にわたりセッティングをスウェーデンでの映画製作から遠ざけることとなった。現在ではスウェーデン映画ベストにもしばしば挙げられる。
1968(サンドレヴス) ㊟㊟マイ・セッティング ㊟ デイヴィッド・ヒューズ ㊟ リューネ・エーリクソン ㊟ シャーリス・デラトル ㊟ マイケル・ハード ㊟ ビビ・アンデション、ハリエット・アンデション、グンネル・リンドプロム

19 12/1(土)1:00pm 12/4(火)7:00pm

俺たちはモッズと呼ばれる
(100分・DCP・白黒) *Dom kallar oss mods*
一人の若者が5分以上淡々と生い立ちを語るショットから、主人公二人(ケンタとスタッフェ)が颯爽と登場し、ロックスターのように街を闊歩するタイトルバックへと鮮烈に移行する。以後おおむね「シネマ・ヴェリテ」のスタイルをとるこの映画は、若者たちの享楽的な生態を活写しつつ、福祉国家スウェーデンからこぼれ落ちてしまう社会層の存在をも浮かび上がらせていく。「モッズ」ドキュメンタリー3部作の第1作。
1968(SF) ㊟㊟ステファン・ヤール ㊟ ヤーン・リンドクヴィスト ㊟ リア・ライダー ㊟ ケンネット・「ケンタ」、グスタヴソン、グスタヴ・「スタッフェ」、スヴェンソン

20 12/1(土)4:00pm 12/5(水)7:00pm

まともな人生(102分・DCP・カラー)
Ett anständigt liv
「モッズ」ドキュメンタリー3部作の第2作。前作から約10年が過ぎ、若者たちの遊び場だった駅はずっかり荒んで、ジャンキーが寝泊まりする場に。離れ離れになったケンタとスタッフェはそれぞれ所帯を持っているが、薬物禍は彼らにもやがて悲劇をもたらす。前作の映像をたびたび挿入して現在と重ね合わせ、時間の経過と社会の荒廃を表現する編集にも注目。
1979(ヤール&リンドクヴィスト・フィルムプロダクション) ㊟㊟ステファン・ヤール ㊟ パール・シェルベリ、スタッファン・リンドクヴィスト、ヤーン・リンドクヴィスト、ローランド・ルンディン ㊟ ウルフ・ダーグビー ㊟ ケンネット・「ケンタ」、グスタヴソン、グスタヴ・「スタッフェ」、スヴェンソン、エーヴァ・ブロンディーン=グスタヴソン

21 11/28(水)7:00pm 12/4(火)3:00pm

スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー
(120分・DCP・カラー・英語字幕)
En kärlekshistoria
『散歩する惑星』(2000)、『さよなら、人類』(2014)などで知られるR・アンダーソン(アンデション)監督が26歳で発表し、ベルリン国際映画祭で4賞を受賞、本国でも大ヒットを記録したデビュー作。ソフト・ロック調の爽やかな旋律に乗って、15歳の少年パール(ソールマン)と13歳の少女アニカ(シュリーン)が育む初々しい恋模様は、世俗の垢にまみれた大人たちと対比して描かれる。1971年日本初公開時の題名は『純愛日記』。
1970(エローバ・フィルム) ㊟㊟ロイ・アンダーソン ㊟ ユルゲン・パーション ㊟ ビョーン・イスフェルト ㊟ アンソフィ・シュリーン、ロルフ・ソールマン、アンター・リンドプロム、パツァイル・ノーストルム、ビョルン・アンドレセン

22 11/29(木)3:00pm 12/7(金)7:00pm

刑事マルティン・ベック
(113分・DCP・カラー・英語字幕)
Mannen på taket
世界中で知られる警察小説シリーズの第7作(『唾棄すべき男』)を映画化。主役のマルティン・ベックに抜擢された(それまで喜劇映画の俳優として知られていた)C=G・リンドステットを始め、持ち味の異なる俳優たちの存在感が素晴らしく、彼らのアクションを細部まで巧みにとらえる手持ち撮影も効果的。残酷な殺人事件の犯人を、ストックホルム警察殺人課の刑事たちが追っていく。当時のスウェーデンで記録的なヒットとなった。1978年日本公開。
1976(SF) ㊟㊟ボー・ヴィーデルベリ ㊟ マイ・シュエヴァル、ペール・ヴァーナル ㊟ オールド・ガイル・セーテル、ペール・シェルベリ ㊟ ウルフ・アクセソン ㊟ ビョーン・J・リンド ㊟ カール＝グスタヴ・リンドステット、スヴェン・ヴォルテル、トーマス・ヘルベリ、ホーカン・サーネル

23 12/11(火)3:00pm 12/23(日)4:00pm

ピカソの冒険(113分・DCP・カラー)

Picasso's äventyr

ハッセ&ターゲの名で親しまれたコメディアン・チーム、アルフレッドソンとダーニエルソンは、映画監督として両者ともすぐれた作品を残している。本作は、より多作であったダーニエルソンによる一本。「芸術とは真実を伝える嘘である」というピカソの言葉を冒頭に置き、ピカソの生涯を語るかのように見せかけて、奔放かつナンセンスな世界が展開する。ピカソ役はH・エークマンの息子ユスタ。アルフレッドソン(『裏切りのサーカス』のT・アルフレッドソン監督の父でもある)がピカソの父を演じる。

1978(スウェンスカ・オード、SF)◎◎ターゲ・ダーニエルソン◎◎◎ハーンズ・アルフレッドソン◎◎ユスタ・エークマン◎トニー・フォシュベリ、ローランド・スターネル◎ステューグ・ボークヴィスト◎グンナル・スヴェンソン◎マルガレータ・クローク、レーナ・オリソン、バーナード・クリピンス

24 12/2(日)3:30pm 12/6(木)3:00pm

参考上映▶

スエーデン皇太子殿下同妃殿下御来朝

作品情報はプログラム5を参照。

アンドレーの北極気球探検行

(141分・35mm・カラー) Ingenjör Andréas luftfärd
ハリウッドから戻ったトロエルの帰国第一作。気球での北極点到達を試みて遭難死した、サーロモン・アウグスト・アンドレー(1854-1897)の野望と挫折を描く。近年に至るまで多くの歴史映画で才を揮っているトロエルは、本作でも綿密な考証で説得力ある作品世界を構築。苛酷な自然描写は、サイレント期以来のスウェーデン映画の伝統に連なる。アカデミー外国語映画賞ノミネート。当館所蔵プリントによる上映。

1982(SF)◎◎◎ヤーン・トロエル◎パール・オーロフ・スンドマン◎クラウス・リフビヤ、イアン・レイコフ、イエオリ・オッドネル◎ウルフ・アクセーン◎ハーンズ=エーリク・フィーリップ、カール=アクセル・ドミニック◎マックス・フォン・シドー、スヴァッレ・アンケル・アウスダル、ヨーラン・スターンゲッツ

講演会のお知らせ

**「トーカー以降のスウェーデン映画史
～モランデルからトロエルまで」**

日時:2018年12月8日

1:55pm-2:55pm(終了時刻は予定)

講演者:カイス・ヘッドストルム Kajsa Hedström
(スウェーデン映画協会映画遺産部)

- * 逐次通訳付き
- * 入場無料
- * 当日1回目の上映をご覧になった方は、そのまま講演会に参加することができます。講演会のみのお参加もできます。

月	火	水	木	金	土	日	
11月	3 キャリア 3:00pm (107分)	16 ここにあなたの人生がある 2:00pm (169分)	22 刑事マルティン・ベック 3:00pm (113分)	11 春の悶え 3:00pm (108分)	19 俺たちはモッズと呼ばれる 1:00pm (100分)	4 イングリッド・バーグマン選集 12:00pm (計140分)	
	13 ミス・エイプリル 7:00pm (100分)	21 スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー 7:00pm (120分)	12 道化師の夜 7:00pm (93分)	8 牢獄 7:00pm (80分)	20 まともな人生 4:00pm (102分)	24 アンドレーの北極気球探検行 他 3:30pm (計150分)	
						16 ここにあなたの人生がある 11:00am (169分)	
12月	21 スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー 3:00pm (120分)	13 ミス・エイプリル 3:00pm (100分)	24 アンドレーの北極気球探検行 他 3:00pm (計150分)	4 イングリッド・バーグマン選集 3:00pm (計140分)	16 カイス・ヘッドストルム氏講演会 1:55-2:55pm	8 牢獄 1:00pm (80分)	
	19 俺たちはモッズと呼ばれる 7:00pm (100分)	20 まともな人生 7:00pm (102分)	3 キャリア 7:00pm (107分)	22 刑事マルティン・ベック 7:00pm (113分)	11 春の悶え 4:00pm (108分)	12 道化師の夜 4:00pm (93分)	
							10 ここにあなたの人生がある 11:00am (169分)
12月	23 ピカソの冒険 3:00pm (113分)	6 露は溢れ雨は落つ 3:00pm (103分)	1 カール=フレードリック 統治す 3:00pm (90分)	*日本映画の父「牧野省三」 *「日本最初の映画スター」尾上松之助 最古の『忠臣蔵』 [デジタル復元・最長版] 特別上映会 *詳細は当館ホームページにて		7 見知らぬ港 11:00am (85分)	10 娘とヒヤシンス 11:00am (89分)
	2 ペンション「楽園」 7:00pm (78分)	15 アーネ・スックドルフ選集 6:30pm (計135分)	17 天使のともしび 7:00pm (83分)		5 炎は燃える 他 1:30pm (計116分)	9 母というだけ 1:30pm (101分)	
						14 貧民街 4:30pm (101分)	18 ガールズ 4:30pm (100分)
12月	9 母というだけ 3:00pm (101分)	2 ペンション「楽園」 3:00pm (78分)	5 炎は燃える 他 3:00pm (計116分)	10 娘とヒヤシンス 3:00pm (89分)	17 天使のともしび 1:00pm (83分)	1 カール=フレードリック 統治す 1:00pm (90分)	
	7 見知らぬ港 7:00pm (85分)	18 ガールズ 7:00pm (100分)	6 露は溢れ雨は落つ 7:00pm (103分)	14 貧民街 7:00pm (101分)	15 アーネ・スックドルフ選集 3:30pm (計135分)	23 ピカソの冒険 4:00pm (113分)	

■ 作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

前売券の購入方法

[Pコード:559-141]

チケットぴあ店舗、セブン-イレブン、サークルKサンクスで購入

▶ 11月13日(火)より各プログラムの前日まで

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円がかかります。

受付電話(0570-02-9999)で購入

▶ 11月13日(火)より各プログラムの4日前23:59まで購入可能

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円がかかります。

* 毎週火・水2時30分～5時30分はシステムメンテナンスのため受付休止となります。

チケットぴあのサイト(<http://w.pia.jp/t/faj-sweden/>)で購入

▶ 購入時期によってご利用可能な決済方法が異なります。

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円、また決済方法によって1件につき決済手数料がかかる場合があります。

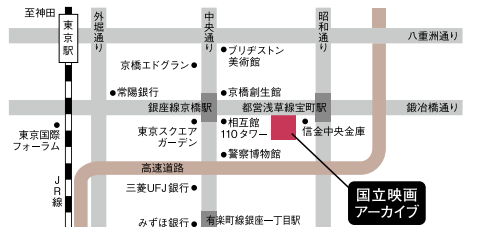
* 手数料等の詳細については、上記チケットぴあのウェブサイトをご覧ください。

前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

2階受付では、「NFAJニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

- 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
ホームページ: www.nfaj.go.jp

表紙: (左列・上から)ここにあなたの人生がある、幸せは遠い雲の下に、母というだけ、(中列・上から)ミス・エイプリル、露は溢れ雨は落つ、スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー、(右列・上から)俺たちはモッズと呼ばれる、貧民街